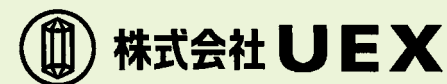


# 株主の皆さまへ



## 第58期 中間報告書

2011年4月1日～2011年9月30日

証券コード：9888

### 社長メッセージ

第58期の中間報告書をお届けするにあたり、日頃から格別のご高配を株主の皆さまから賜り厚く御礼申し上げます。

リーマンショック以降の世界同時不況からようやく立ち直りをみせていた日本経済は3月の東日本大震災で一変しました。東北地方に製造拠点を持つ企業のサプライチェーンが寸断され、原発事故による電力供給不安が製造業はもちろん、消費者の動向にも少なからず影響を与えました。今まで経験のない大災害の影響は、業界、地域あるいは時期によって景気の動向を読みにくいものとなりました。

このような状況のなか、当社の第58期第1四半期（4月～6月）の業績は、震災直後の緊急対応や復興需要に対する期待もありステンレス市況が堅調に推移したため、売上高は106億円、四半期純利益も64百万円を確保しましたが、夏場以降はニッケル価格の低迷に伴うステンレス市況の先安感が販売価格の下落を招き、売上総利益率も低下したため、第2四半期（7月～9月）では、売上高

は108億円計上したものの、純利益では赤字となってしまいました。下期に入りましても歴史的円高が客先や市場に及ぼす悪影響は続き、冬場の電力不安や本格復興需要の遅れなどが懸念され、景気の先行きは全く予断の許さないものとなっております。

当社は2010年4月から3カ年の中期経営計画＝「『志』登頂計画」を推進しておりますが、今年の9月でちょうど半分の1年半が経過しました。「『志』登頂計画」では、外へ向けた改革（「外部環境に過度に左右されない安定的な収益基盤の構築」）と内部の改革（「当事者意識に基づいた自立的組織運営の構築」）を融合させ、企業価値を高めることを目標としておりますが、社員の意識改革と収益基盤を盤石なものとするため、社員全員参画の「YD活動」などを通じて社内改革に取り組んで参りました。外へ向けた改革では、直需向け営業の強化や高付加価値化の推進に取り組み、直需販売比率は2010年度上期の49%から今期56%と若干ではありますが向上しました。また高付加価値化の一環で取り組んでいる加工品売上高も2010年度上期の1,294百万円から今期1,536百万円と徐々にその金額を伸ばしています。内部の改革では、この10月からは新人事制度を発定させ、より公正な人事考課を通じて社員の当事者意識と志気の向上を制度面から支える仕組みを作りました。

「『志』登頂計画」も残すところあと1年半、社員一丸となって頂上を目指して参りますので、株主の皆さまにおかれましても、今まで以上のご支援とご理解をお願い申し上げます。

2011年11月

代表取締役社長 押本 俊明



# 事業の概況

当第2四半期（2011年4月1日～2011年9月30日）におけるわが国経済は、東日本大震災による直接的な被害に加え、原発事故に伴う電力供給不足や急激な円高などによる影響もあって先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況のなか、当社企業集団の連結業績は、主力事業であるステンレス鋼その他金属材料の販売事業において、期初にニッケル価格が高値圏で推移したことにより販売価格が上昇したことに加え震災関連の緊急需要があったことなどから、売上高は前年同期に比べ11.8%増加の21,399百万円となりました。利益面につきましては、売上高の増加により売上総利益が前年同期に比べ113百万円増加したものの、人件費抑制の緩和や販売量の増加に伴う運搬費などの増加により販売費及び一般管理費が197百万円増加したため、営業利益は前年同期に比べ37.1%減少の142百万円、経常利益は前年同期に比べ53.3%減少の90百万円となりました。四半期純利益は税金費用が増加したことも重なり前年同期に比べ77.8%減少の50百万円となりました。

## ステンレス鋼その他金属材料の販売事業

ステンレス鋼の販売において、販売数量が前年同期に比べ6.6%増加、販売価格が2.0%上昇したことなどにより、売上高は前年同期に比べ11.2%増加の20,464

百万円となりました。人件費を中心とした販売費及び一般管理費の増加により、営業利益は前年同期に比べ42.7%減少の182百万円となりました。

## ステンレス鋼その他金属加工製品の製造・販売事業

売上高は417百万円と前年同期と比べ4.5%増加しました。また、前期に発生した国内事業における製造拠点の集約による一過性のコストがなくなったことと

それによる合理化効果、中国での造管事業の収益改善により、営業利益は20百万円（前年同期は31百万円の損失）となりました。

## 機械装置の製造・販売及びエンジニアリング事業

一部海外物件の完成などにより、売上高は前年同期と比べ55.3%増加の518百万円を計上したものの、多くの受注物件の納期が下期に集中しており、当第2四

半期の営業損益は76百万円の損失（前年同期は83百万円の損失）となりました。

## セグメント別会社一覧

（単位：百万円）

事業区分	会社名	資本金	出資比率 (%)	売上高		事業内容
				11/9実績	10/9実績	
ステンレス鋼などの販売	UEX (当社)	1,512	—	20,532	18,416	ステンレス鋼などの在庫加工販売
	UEX管材	12.8	79.4	582	492	鋼管、鋼材、継手類の販売
	日進ステンレス	20	100	620	522	半導体装置用ステンレス鋼管の販売事業
	ナカタニ <sup>(※)</sup>	10	33.6	1,831	1,450	鋳造品・鍛造品・機械部品などの設計・加工
	SPEX <sup>(※)</sup>	10,000千NT\$	40	9,398千NT\$	6,578千NT\$	チタン展伸材などの輸入販売
	ステンレス急送	10	100	171	168	貨物自動車運送業
加工製品の製造・販売	大崎製作所	15.5	100	321	305	有圧換気扇ウェザーカバーのOEM生産
	上海UEX	1,520千US\$	100	7,694千元	7,154千元	鋼管加工製品の製造・販売
機械装置 エンジニアリング	上野エンジニアリング	60	90	443	272	一般産業用機械装置の設計・製作
	三益UEX	10	100	76	64	鋼管製造用機械の製造・販売

(※)は持分法適用会社

当社は関係会社が9社あります。

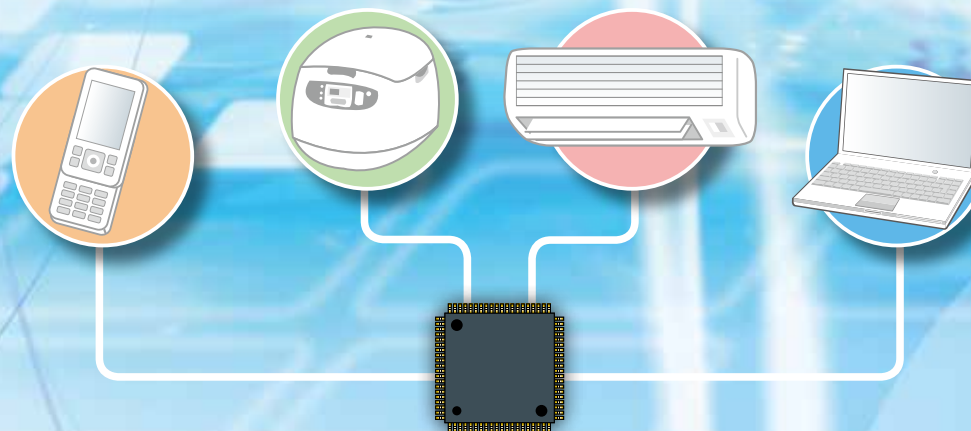
今回はそのうちから半導体分野でビジネスを展開している

**日進ステンレス株式会社**をご紹介します。

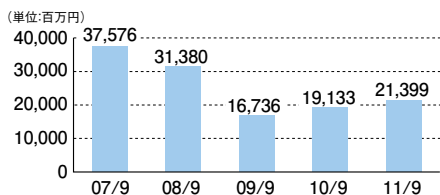
会社や家庭でお使いのパソコン、携帯電話、自動車、あるいはエアコンや炊飯器など様々な電気を使う機械、装置、器具などで半導体が使用されていることをご存知でしょうか。半導体は埃や塵等を排除したクリーンルームで製造され、諸資材も清浄度の高い物が使用されています。

日進ステンレスは、その半導体をつくる機械、つまり半導体製造装置メーカーや太陽電池・液晶製造工場やフラッシュメモリー製造工場などで使用される、優れた内面平滑度と内面清浄度をもつ配管用高純度ステンレス鋼管を扱う専門商社です。一般産業分野同様、半導体分野も工事期間や装置完成までの期間が短くなっており、取引先の要望納期に応える対応力が重要になってきています。

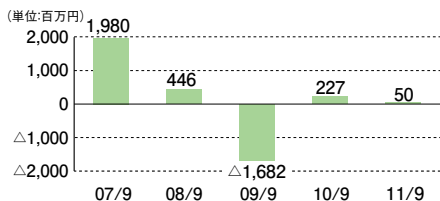
日進ステンレスの設立は1976年ですが、2001年4月から当社の連結子会社となりました。今後もUEXグループとして親会社、仕入先と協力しあい、IT産業の発展に貢献することが期待されています。



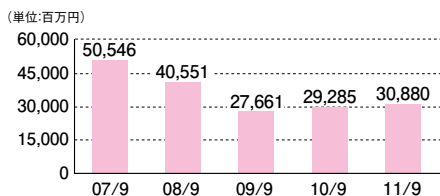
## 連結売上高 (第2四半期累計)



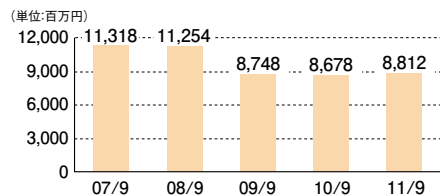
## 連結四半期純利益 (第2四半期累計)



## 総資産



## 純資産



### 日進ステンレス(株) (NISSIN STAINLESS CO.,LTD)

本社 〒210-0005 神奈川県川崎市川崎区東田町6-2 宮代ビル5階  
 資本金 2,000万円  
 創業 1968年1月  
 設立 1976年4月22日



# 会社概要 (2011年9月30日現在)

社名	株式会社UEX	本社	〒140-8630 東京都品川区東品川2-2-24 天王洲セントラルタワー 5F
英文商号	UEX, LTD.		TEL 03(5460)6500
設立	1955年1月14日		FAX 03(5460)6409
代表者	押本 俊明	大阪支店・大阪配送センター	
資本金	15億1,215万円	九州支店・九州配送センター	
従業員数	308名	北陸支店・北陸配送センター	
主要販売先	(株)東芝 (株)IHI (株)荏原製作所 新日鉄エンジニアリング(株) 三菱重工業(株)	東北支店・東北スチールサービスセンター	
主要仕入先		名古屋営業所・名古屋配送センター	
〈メーカー〉	新日鉄住金ステンレス(株) 新日本製鐵(株) 住友金属工業(株) 大同特殊鋼(株) 山陽特殊製鋼(株) 愛知製鋼(株)	東海営業所	
〈商社〉	住友商事(株) (株)メタルワン 三井物産スチール(株) NSステンレス(株)	三島スチールサービスセンター	
		第一伊勢原スチールサービスセンター	
		第二伊勢原スチールサービスセンター	
		東京配送センター	

# 株式の状況 (2011年9月30日現在)

■発行可能株式総数	36,000,000株
■発行済株式の総数	12,000,000株
■株主数	2,885名

## ■大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数	出資比率
株式会社メタルワン	1,200千株	10.5%
住友商事株式会社	1,200千株	10.5%
新日鉄住金ステンレス株式会社	696千株	6.1%
株式会社みずほ銀行	548千株	4.8%
UEX社員持株会	423千株	3.7%
上野竹枝	393千株	3.4%
三井物産スチール株式会社	368千株	3.2%

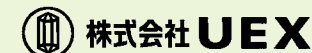
(注) 出資比率は、自己株式を控除して計算しております。

# 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
定時株主総会基準日	毎年3月31日
期末配当基準日	毎年3月31日
中間配当基準日	毎年9月30日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂 七丁目10番11号 電話 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	株式会社大阪証券取引所 ジャスダック市場
公告の方法	東京都において発行する日本経済新聞 当社は、貸借対照表ならびに損益計算書を当社ホームページに掲載いたしております。 <a href="http://www.uex-ltd.co.jp/">http://www.uex-ltd.co.jp/</a>

## ご注意

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



〒140-8630 東京都品川区東品川2-2-24  
Tel.03-5460-6500 Fax.03-5460-6409